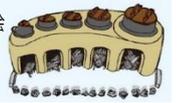




旧中島家住宅 へっつい通信 vol.5

発行：市民とともに行う栗東歴史民俗博物館創造活動事業実行委員会

発行日：2015 年 8 月 8 日（土）



旧中島家住宅かまど再生事業 関連展示 湖国のへっついさん のお知らせ

会期：9月19日（土）～11月3日（火・祝）

休館日：月曜日（ただし月曜日が祝日と重なる場合は開館）・祝翌日

場所：栗東歴史民俗博物館 第2展示室 展示解説会：9月26日（土）14:00～15:00

主催：市民とともに行なう栗東歴史民俗博物館創造活動事業実行委員会・栗東歴史民俗博物館

協力：公益財団法人 栗東市体育協会

栗東歴史民俗博物館敷地に移築されている明治時代の農家住宅、旧中島家住宅（国登録有形文化財）には土製のかまどがあります。初代の土かまどは平成5年の移築時、調査に基づいて復元されたものですが、設置から20年以上が経過し老朽化していました。そこで、市民とともに行う栗東歴史民俗博物館創造活動事業実行委員会では、平成27年度に市民とともにこのかまどを解体し、再生する事業を行うことになりました。平成27年度に行なったワークショップでは、初代のかまどを解体して新しいかまどを再構築しました。この展示会の会期中、10月12日（月・祝）には再生されたかまどに火を入れ、みなさんにお披露目する予定となっています。

展示会はこのかまど再生事業にあわせて行うものです。発掘調査にともなって発見されるかまど関連資料から、近年まで目にしたタイルかまどまで、かまどの歴史を紹介するとともに、栗東市域では愛宕信仰に代表されるかまどに関連した信仰についても紹介します。

展示構成

- 1.湖国のへっついさん
～旧中島家住宅のへっついと湖国のへっつい～
- 2.考古資料からみるかまど
- 3.あそびのなかのかまど・へっつい
- 4.生活の近代化とかまどの進化
- 5.かまどと信仰

スポット展示

～かまど炊きごはんへの憧憬～



出品資料をチョコッと紹介



～あそびのなかのかまど・へっつい～のコーナーより

現在のままごととあそび道具にガスコンロがあるように、かまどが活躍していた時代には、ままごと道具にかまどがありました。ままごと用のガスコンロに種々あるように、ままごとのかまどもさまざまなバリエーションがあります。

なかには実際に炊飯することができるものもあり、“ママレンジ”（電気の熱を使ったガスコンロ型の玩具、付属のフライパンでホットケーキなどが焼ける）を彷彿させます。

このコーナーで展示予定の、ままごとのかまどをいくつか紹介します。



▲ままごと道具 台付銅板製二口かまど 近代 愛荘町立歴史文化博物館蔵

愛荘町内の旧家に伝わったままごと道具のかまど。かまど本体は銅板に覆われている。ままごと道具にはめずらしく、一口ごとに独立した火袋を持つ。木製の台の裏側に吸排気用の口が開く、しっかりした構造を持つ。燃え残った炭を入れる火消壺などが、一緒に伝わったままごと道具に含まれている。小さな子どもがこれを手に遊んでいた様子が目に浮かぶ。



拡大すると…
小さなかまど！

◀《参考資料》浮世絵「京人形」
近世 写真提供さいたま市子どもたちがままごととあそびをしている。右の人物の手元には、花柄の小さなかまどが。



◀土人形 土製三口かまど 近代 東近江市近江商人博物館蔵

土人形は京都伏見稻荷大社門前で売られる伏見人形が知られていて、かまどの土人形を専門につくる店もある。このかまども伏見、あるいは伏見で作られたかまどを元に地方で作成されたものだろう。型を用いて成型したもので、内部は三口すべての火袋につながる簡単な作りとなっている。



7月4日(土)ワークショップの記録



▲最初にサポーターさん皆で土を練りました。



▲藁を混ぜながら硬さを調整。泥団子に。



▲泥団子を積み上げました。



7月5日(日)ワークショップの記録



▲土をコテでならしながらさらに積み上げました。



▲どんどん積み上げ、必要な高さまで積み上げました。



▲表面を成型し、ヘツイの外観が整いました。あとは表面の仕上げ塗りを待つのみ。

ドヘツイ再生レシピ④～8月8日ワークショップの手順～



▲参考 金コテを使った仕上げ。
*写真では上塗りは漆喰を表面仕上げに使っています。

指導：宮奥 淳司さん(宮奥左官工業 一級左官技能士)
コーディネート：岸田 知之さん

8月8日のワークショップでは、かまどにきめ細かな土をコテで塗り、表面を滑らかに仕上げしていきます。

具体的な作業の手順

作業① 上塗り用の土を捏ねます。

作業② かまどの内側にあたる火袋(ひぶくろ)は土を手でなでてつけて調整します。外側は金コテを使って全体に薄く土を塗っていきます。

*今回は作業①②を一続きで行なう必要があります。午前と午後の作業内容は異なります。

再生されたかまどのお披露目は… 10月12日(月・祝)に行います。

旧中島家かまど再生事業関連行事 ヘツイ(かまど)開きっ!!

★ 再生ヘツイ(かまど)初火入れ式 10:00～12:00 @旧中島家住宅

伊勢大神楽(国指定無形文化財)森本忠太夫組による竈祓い・伊勢神楽(獅子舞)上演
新旧ヘツイ(かまど)3D データ、コマ送り動画上映

★ 講演会・意見交換会研修室 13:30～16:30 @栗東歴史民俗博物館

講演「愛宕信仰と火伏せのいのり」八木透氏(佛教大学歴史学部 教授)

事例報告「向日市富永屋におけるかまど活用」寺崎正直氏(富永屋の会・グループとみじん)

意見交換会 旧中島家住宅再生かまど今後の活用方法